

ECO Guardian Interview **4**



時間の融通が利き
産休後も復帰しやすく
働きやすい環境



職場の声

吉永さんは産休取得は2回目。今後はさらに色々な作業や技術を習得してもらい、職場を任せられるようになることを期待しています。産後も現場で活躍中の大庭さんは、これまでの経験を活かし、元気に安全作業を続けてほしいと思います。当社では、女性や高齢者の雇用をフルタイムでも短時間でも積極的に受け入れています。短時間作業員にも、産前・産後の育児休業制度を推奨していることもあり、

九州メタル産業株式会社
リサイクル課 解体作業員 入社3年

ノートパソコンやハードディスクを解体し、資源を回収しています。自分で決めた解体目標ができた時は達成感があります。妊娠前に携わっていたピッキング作業では、破砕機オペレーターの勉強もしていました。産休からの復帰後はピッキング作業へ戻り、オペレーターの勉強をしたいです。

ECO Guardian Interview **6**



ハンデイクランプの取得から
重機免許の取得から
仕事の幅を拡大中

職場の声

國政さんは少しずつできることを増やしながらマルチプレーヤーを目指してほしいです。亡き父親に憧れて入社した鈴木さんは、父親に恥じない仕事ぶりを見せられるようにと、日々努力をしてくれています。当社では積極的に多様な人材の雇用を行っており、障がい者に関しては支援員が現場でサポートしています。

國政 幸雄さん

光進工業株式会社
分別工場 分別作業員 入社2年

産業廃棄物をリサイクルできるように分別したり、重機を使った作業を行っています。私には軽度障がいがありますが、重機免許を取ってみたいかと社長に勧められたことをきっかけに挑戦し、コンボやフォークリフトなど3つの免許を取得することができました。もっと仕事の幅を広げて、自分から率先して動けるようになりたいです。



ECO Guardian Interview **5**



工夫しながら
自分で解体法を見つける
面白さがある

大庭 正信さん

九州メタル産業株式会社
リサイクル課 解体作業員 入社34年

入社して営業部と総務部を経験した後、定年を迎え65歳からアルバイトとして現場で働いています。電製品の手解体は、解体方法を自分で見出しながら行うので、やりがいがある面白仕事です。事務作業から現場に異動する時に不安はありませんでしたが、自分の体と相談しながら無理をせず状況に応じて作業を行ってきました。ケガをしないように、仲間にもケガをさせないように注意しながら働いています。

周囲に気を配りながら
様々な重機の
運転技術を向上



ECO Guardian Interview **7**

鈴木 敦也さん

光進工業株式会社
環境事業部 重機オペレーター 入社1年

積み込みや腐コンクリートの破砕など、重機のオペレーターをしています。運転が好きなので、練習して細かい作業などが思い通りにできた時はやりがいがあります。乗り初めの頃は状況や流れを読みながら運転することが本当に大変でしたが、常に周囲に気を配り運転することを心掛けたことで乗り越えることができました。

社会貢献

産業廃棄物処理業界は災害復興や地域社会に貢献しています。



災害廃棄物処理

地震や豪雨など大規模災害時は一時的に大量の災害廃棄物が発生し、復興のためには災害廃棄物の処理が必要不可欠です。産業廃棄物処理業界はこれらの処理の支援を行うなど、災害復興に貢献しています。



ボランティア活動

地域イベントのボランティア活動や、近隣の公園などの清掃活動を定期的に行っています。地域住民のみならず清掃活動を通してコミュニケーションを取りながら、きれいで安全な街づくりに貢献しています。

公益社団法人
福岡県産業資源循環協会 北九州支部
<https://www.f-sanpai.com/>

私たちに、未来へ残したい大切なものがあります。
そして何より、私たちの使命は、
より良い生活環境を築くことです。



本協会は、新公益法人制度に基づいて認定を受けた公益社団法人で、産業廃棄物処理業者及び排出事業者等が会員となって運営されています。関係行政の指導のもとに、産業廃棄物の適正処理と処理体制の一層の整備を推進し、産業廃棄物処理対策を取り巻く様々な問題を克服しつつ、より良い生活環境の保全と産業廃棄物処理事業の振興に寄与することを目指しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsと産業廃棄物処理業
「Sustainable Development Goals」
(特長可能な開発目標)

産業廃棄物処理業はSDGsが掲げる17の目標のうち、「目標3：すべての人に健康と福祉を」「目標4：質の高い教育をみんなに」「目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「目標8：働きがいも経済成長も」「目標9：産業と技術革新の基盤をつくる」「目標11：住み続けられるまちづくりを」「目標12：つくる責任つかう責任」「目標17：パートナーシップで目標を達成しよう」に取り組んでいます。

【本リーフレットに関するお問合せ】
北九州市環境局 産業廃棄物対策課
〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1
TEL 093-582-2177

【産業廃棄物処理に関するお問合せ】
公益社団法人 福岡県産業資源循環協会 北九州支部
〒800-0115 北九州市門司区新門司3-67-9
TEL 093-481-7052